

# チャペル週報

No.24

2016.11.28 ~ 12.2

キリストは、神の身分でありながら、  
神と等しい者であることに固執しようとは思わず、  
かえって自分を無にして、僕の身分になり、  
人間と同じ者になりました。

(フィリピの信徒への手紙 2章 6節～7節a)



吉岡記念館とランバス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

---

☆ チャペル・スケジュール ☆

---

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

---

11月28日(月) 神 加 納 和 寛 (神学部准教授)  
経 アドベントを迎えて 舟 木 讓 (宗教主事)  
人 アドベントを覚えて 嶺 重 淑 (宗教主事)  
理 音楽チャペル ゴスペルクワイア"POV"  
聖和 聖書物語「家出したむすこ」

---

11月29日(火) 神 堀 忠 (神学研究科D1)  
文 田 淵 結 (院長)  
社 一文字シリーズ「光」① 有 田 憲一郎 (脳性麻痺と共に生きる伝え人)  
法 窪 寺 俊 之 (関西学院大学名誉教授)  
経 「人間を考える⑦」 長谷川 哲 子 (経済学部准教授)  
商 山 本 俊 正 (宗教主事)  
国 クリスマスにそなえよう 平 林 孝 裕 (宗教主事)  
理 前 川 裕 (宗教主事)  
総 KSCハンドベル&アンサンブル 音楽チャペル  
教 音楽チャペル 聖歌隊

---

11月30日(水) 神 岩 野 祐 介 (神学部教授)  
社 一文字シリーズ「光」② Vivian Bussinguer-Khavari (社会学部准教授)  
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)  
経 「人間を考える⑧(最終回)」 岡 田 敏 裕 (経済学部教授)  
商 「最終チャペルトーク」 福 井 幸 男 (商学部教授)  
人 嶺 重 淑 (宗教主事)  
国 渥 美 裕 之 (国際学部教授)  
理 橋 本 秀 樹 (理工学部教授)  
総 有 田 憲一郎 (脳性麻痺と共に生きる伝え人)  
教 原 田 大 介 (教育学部准教授)

---

12月1日(木) 神 音楽チャペル 聖歌隊  
文 上ヶ原ハピタット (GV)  
社 ゴスペル・クリスマス ゴスペルクワイア"POV"  
法 大 宮 有 博 (宗教主事)  
商 「最終チャペルトーク」 深 山 明 (商学部教授)  
総 Chapel in English Eun Ja Lee (宣教師)  
聖和 高 橋 知 雅 (総合政策学部3年生) 国際社会貢献活動報告  
前 川 裕 (理工学部宗教主事)

---

12月2日(金) 神 Theology in Dialogue Class  
文 Chapel in English Andreas Rusterholz (宗教主事)  
人 梶 原 直 美 (教育学部宗教主事)  
院 大 宮 有 博 (法学部宗教主事)  
理 有 澤 慎 一 (日本基督教団八尾東教会牧師)

---

◇ランパス早天祈祷会 毎週金曜日 8:20～8:40 ランパス記念礼拝堂 (西宮上ヶ原)  
12月2日(金) 先端社会研究所のために 奥 野 卓 司 (先端社会研究所長)

---

# アドヴェント—温かな光をともして

梶原直美

暑かった長い夏が過ぎると、今年は瞬く間に冷たい風の季節になり、わたしたちは今こうしてアドヴェント（待降節）の時期を迎えています。

アドヴェントは“advenio”というラテン語の名詞形が語源で、“ad”は「～へ」と方向を表し、“venio”は「来る」のほか多義を持つ語です。つまり、語源は「ここに到る」「到来する」を意味します。けれども、アドヴェントには「待降節」という意味も含まれ、その到来を待つ季節として理解されます。この季節とは、11月30日に最も近い日曜日から12月24日までの約四週間を指し、今年は11月27日から始まりました。

それを待たずして11月半ばから、街なかでクリスマスツリーが見られ、クリスマスソングを耳にすることもありました。すでにきれいな光の装飾で華やかに輝いているところも少くありません。多くの人が、このような美しい光景の季節を楽しみにしています。それが、暗く寒い季節のなかで、人の気持ちに明るさと温かさを添えるからなのかもしれません。

この季節、チャペルのろうそくや典礼布などには紫色が使われます。紫色は、原料が手に入りにくかったことから貴重な色であり、5世紀あたりから断食を伴って内省的に過ごす時期を象徴する色として使用されていました。あのとき自分は身勝手すぎた、あのとき人に無理をさせてしまった、何より、自分に向けられた愛に気づこうとしなかった—そのように神様の前で自分を振り返る時期です。それは、心から神様の愛を受け取る準備のための時でした。

わたしたちの周囲では、様々な音楽団体が12月のチャペルの準備をしています。教育学部でも、有志の学生が合同アドヴェントチャペルのための合唱や合奏の練習をしています。メンバーたちは、讃美歌の歌詞の説明に耳を傾け、それをどうにか表現しようとします。気持ちの温かさややわらかさを表現する箇所では、心からそれを届けようと、包み込むように歌います。心のなかにあるからこそ、歌や楽器で表現することによって、伝わっていくのでしょう。多くの人が温かさを求めています。それは、人を通して手渡せるものなのだとあらためて思われます。

アドヴェントの季節、愛のしるしであるクリスマスへ向けて、いつもより温かさを放ちながら過ごすのはいかがでしょうか。祝福された豊かな日々でありますように。

（教育学部宗教主事）

## ●大阪梅田キャンパスチャペルアワー

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローチタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。(17:50～18:20 1405号教室)

12月主題:アドベントを迎えてークリスマスを感じてー

12月1日 舟木 讓(宗教総主事)

12月8日 山本 俊正(キリスト教と文化研究センター長)

12月15日 Jeffrey Mensendiek(宗教センター宗教主事)

12月22日 Jeffrey Mensendiek(宗教センター宗教主事)

## ●冬の献血週間のお知らせ

宗教総部献血実行委員会では、冬の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

<西宮上ヶ原キャンパス>

期 間:11月28日(月)～12月2日(金)

受付場所:吉岡記念館ラウンジ

主 催:宗教総部献血実行委員会

## ●夕べの祈りatランパス～テゼの音楽とともに～

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひとときです。どなたでもご参加ください。

第4回 12月1日(木)18:30～20:00

第5回 1月12日(木)18:30～20:00

ところ:ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催:夕べの祈り準備会(学生有志)

協 力:関西学院宗教活動委員会

## ●第206回ランパス演奏会「アヴェ・マリア」

古今東西のアヴェ・マリア、アマリリ麗し／カッチーニ、アリアと変奏／フレスコバルディ、ほか  
平井満美子／歌 佐野健二／リュート

と き:12月8日(木)17:00開演 18:10終演予定

ところ:ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

<入場無料>

## ●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスイベントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。

参加費は宗教活動委員会を通して関連団体に献金させていただきます。

開催日時:12月22日(木)17:30開場 18:30開始 21:00終了予定

会 場:ザ・シンフォニーホール

参加費(入場料):2,000円 当日座席指定(16:30より座席券と交換)

チケット販売:

\*関西学院大学生協(tel.0798-53-5150)

\*チケットぴあ(tel.0570-02-9999) Pコード 311-006

\*ぴあ取扱いのコンビニエンスストア:サークルK、サンクス、セブン・イレブン

\*ザ・シンフォニーチケットセンター(ザ・シンフォニーホール内、tel.06-6453-2333)

お問合せ:関西学院宗教センター(tel.0798-54-6018)

主 催:関西学院 共催:関西学院後援会・関西学院同窓会

## ●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書が必要)であればどなたでも利用できます。希望者は事務室までお越しください。

## ●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

## ●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので、皆様の温かいご協力をお願いいたします。